

令和元年度第2回南部町教育協働みらい会議 議事録

開催日時 令和2年2月13日(木)
 午前11時00分～正午
 開催場所 法勝寺庁舎2階 会議室
 出席者 陶山町長、井上教育委員、板教育委員、瀬田教育委員、福田教育長
 事務局 大塚総務課長、安達教育次長
 角田人権・社会教育課長、水嶋総務・学校教育課長
 書記 人権・社会教育課 大塚
 欠席者 畠教育委員
 傍聴人 なし

	【開会 午前11時00分】
	【1. 互礼・開会】
	【2. あいさつ】
陶山町長	教育の可能性は無限大である。自己肯定感が生涯を決めると言っても過言ではないのではないか。地域、学校、子どもの未来をつくるため、意欲や一人一人の希望に視点を置きたい。子どもは無限の可能性を持っている。学びの場を提供し、育み、次世代を担う子どもを応援できる会議とするため、意見をいただきたい。
	【3. 意見交換】
	1)資料説明(本町児童生徒の学力・学習状況調査結果について)
安達教育次長	調査結果から、学習意欲の向上が重要であることが分かる。また、自己肯定感も学力と相関している。今年度の小学6年は学力結果が県平均を下回っており、学習や生活の状況調査でも自己肯定感など多くの項目で県平均を下回っている。一方で、中学3年は国語、数学、英語とも県平均を上回っているが、学習や生活の状況調査でもほぼ全ての項目で県平均を上回っている。中学3年の生徒は小学6年時の調査でも自己肯定感が高い結果となっていた。自己肯定感や学習意欲の高さが中学校でのさらなる学力向上に結び付いたと考える。この結果を次年度に引き継ぐことが大切であると考えている。
井上委員	年によって結果に差が見られる。学力が低い子どもをどう持ち上げていくのが課題である。自分で目標や目的を持てるような意識づけができるように、指導をしてほしい。 学力結果の分布はどのようになっているのか。
安達教育次長	二極化している状況が見られる。
福田教育長	学力が低い子どもを一定の水準まで引き上げる必要を感じている。学習は積み重ねなので小学校でいかに基礎基本を身に付けさせるかが大切である。
陶山町長	学習状況の経年比較を見ると小学校では、自己肯定感等の項目が県平均より大きく下回っている。本町の大きな課題である。
福田教育長	この結果だけを見ると全国下位の状況とも言える。この結果を受けて小学校では、特に6年の自己肯定感向上や学級経営の充実に努めている。

板委員	小さいころからできる自信や周りからの寄り添いの積み重ねによって自己肯定感は育つ。 学校の先生方に寄り添える余裕があるか。できる喜びを味わう中で、日々の学習にもつながり、自主学習等に積極的に取り組む学習意欲にもつながる。家で勉強しない子どもが学校の外で勉強できる仕掛けづくりができるか。現在建設中の複合施設が、子どもの放課後の居場所として機能する、子育てに関わる方の拠点となるとよい。
瀬田委員	二極化のうち、学力の低い子どもたちをどうするか。成績が上がって自信をつけ、意欲につながり生活環境、学力状況が変わってくる。自己肯定感を育てるところを先生にはお願いしたい。自己肯定感を育成するカリキュラムはあるか。
安達教育次長	自尊感情を育てる学習は担任、または養護教諭等と連携しながら全校で取り組んでいる。
瀬田委員	先生と子どもの気持ちに差があるのではないかと感じるので先生に意識してほしい。9年間毎年、しっかりとした指導をしてほしい。体験を通して自信をつけ、意欲につながる学習に取り組み、体験の根底にあるものを先生と子どもで共有してほしい。
大塚総務課長	子どもたちは、学校外の学びの場や塾にたくさん行っているのか。
安達教育次長	一定数はいる。小学校は塾というより、習い事のほうが多い印象をもっている。
井上委員	学習塾を町がしている例もあるが、どうかという一面もある。学力保障するために先生はどうがんばっていくべきか。
陶山町長	学校が何を教えるかが根本である。教育の理念は人をつくる。地域の状況も今までとは大幅に変わる。地域の中で生きてきた人が大切にされない状況も見受けられる。そんな状況の中で教育が果たす役割は何なのか今一度考える必要がある。
瀬田委員	子どもにきちんと引き継ぐこと。支えなくても生きていけるシステムを作ってしまったということもある。人の世話にならなくても大丈夫という個人主義の世の中で教育をどう考えるか。
	【4. 挨拶】
福田教育長	全てが学校に関わっている時代である。いろいろな価値観の変化がある中で先生だけが昔の考えのままではいけない。また、学校だけが負うものでもない。特定の方との関わりは深くなったが、地域の方との関わりは深まったとは言えない。学校の働き方、関わる人の考えを変えていく必要がある。学校、家庭はどうするのか。昭和や平成を基礎にしない令和の教育を考えていきたい。子どもに必要な力をつけ無限の可能性を生かすため、学習環境などを整備し未来を実現していく町と教育委員会である必要がある。
	【閉会 正午】